

## ベトナム経済の明るい兆しを感じる第1四半期の経済指標

2024年第1四半期(Q1)が終わり、ベトナム統計総局はQ1の経済指標から、2024年のベトナム経済に明るい兆しが示されたと発表しました。

GDP成長率は前年同期比5.66%で、そのうち農林水産部門は2.98%、工業・建設部門は6.28%、サービス部門は6.12%の成長を示しました。ベトナム政府は今年のGDP成長目標を6.0%~6.5%としており、Q1はまずまずの成果を上げたと言えるでしょう。

製造加工業における平均在庫率は、前年同期81.1%に対して今年は68.7%と大幅に減少しました。これがベトナム経済に与えるインパクトは大きく、経済の回復の兆しを示したとも言えます。在庫率が減少した分野は、木製品108.7%(前年同期153.9%)、化学品・化学製品104.6%(同190.1%)、その他の非鉄金属製品55.7%(同131.9%)などです。

サービス産業は好調で、前年同期に続いて成長を維持しています。そのうち商品小売・消費サービスの売上は8.2%増、旅客輸送は8.5%増、貨物輸送は13%増でした。

貿易活動は活発に行われ、Q1の輸出総額は930億米ドル(前年同期比17%増)、輸入総額は850億米ドル(同13.9%増)で、80億米ドルの貿易黒字となりました(前年同期は49.3億ドルの貿易黒字)。代表的な輸出品目と輸出金額は、携帯電話・関連部品12.3億米ドル、木・木製品28.2億米ドル、カメラ・関連部品15.9億米ドル、水産物12.3億米ドル、野菜・果物7.2億米ドル、機械設備・その他の部品・工具5.6億米ドルでした。

観光客を誘致するためのビザ発給制度の改善と刺激策が功を奏し、Q1にベトナムを訪れた外国人観光客は460万人に上りました。前年同期比72%増、コロナ禍前の2019年と比べても3.2%増となり、観光分野の大幅な回復が見られます。

2024年1月1日~3月20日までの統計によると、ベトナム全国でのFDI(外国直接投資)新規案件数は644件、総投資額47.7億米ドルで、案件数は前年同期比23.4%増、総投資額は同57.9%増となりました。投資実行額は4.6億米ドルと、ここ5年間のQ1の統計で最高値を記録しました。

Q1のCPI(消費者物価指数)の平均上昇率は3.77%で、よくコントロールされていると言えます。ベトナム政府は2024年のCPI平均上昇率を4.0~4.5%以内に設定しています。

### 大阪産業局 ベトナムビジネスサポートデスク

#### 株式会社 NC ネットワーク (ベトナム: NC Network Vietnam JSC.)

日本事務所: 東京都台東区東上野1丁目14番5号 ユーエムビル8階

ベトナム事務所: 8, No.5 Street, Him Lam, Tan Hung Ward, District 7, Ho Chi Minh, VIET NAM